

な ら た

特集号

「市民意識調査」まとまる

住み続けたいが8割に



市民10,000人を対象に実施

この調査は、平成18年度から始まる第4次総合計画の策定にあたり、市民の意見を把握するために昨年8、9月に実施しました。対象となったのは、満15歳以上の市民の中から無作為に抽出した10,000人です。市では、みなさんから寄せられた意見を、これから策定する総合計画の中に反映させていきます。

本号では、この調査結果の概要についてお知らせします。

調査実施概要

調査期間：平成16年8月17日発送、平成16年9月3日回収
 対象者抽出方法：住民基本台帳(平成16年8月1日現在)から満15歳以上の市民を無作為抽出
 調査方法：郵便による調査票の発送・回収
 発送総数：10,000票
 うち宛先不明等：114票
 有効発送数：9,886票
 回収票数：4,970票
 うち無効数：7票
 有効回収票数：4,963票(回収率50.20%)

- ◆数字は、有効回収票数（4,963票）に対する回答項目の割合をパーセント（%）で表示し、小数点第2位を四捨五入してあります。
- ◆回答項目の構成比を重視し、項目ごとに四捨五入した関係から、各項目の合計が100%にならない場合もあります。
- ◆複数回答については、各項目のパーセント（%）を合計すると100%を超えています。

住みごころ

“住みよい”と“住みつづけたい”が前回を上回る

成田市の住みごころについては、「とても住みよい」が22.8%、「どちらかといえば住みよい」が52.4%となっており、合わせると7割以上の方が住みよいと感じています。また、「ずっと住みつづけたい」と「当分は住みつ

づけたい」と答えた人の割合を合わせると79.7%と高くなっています。一方、「住みつづけたくない」は5.7%で、その理由としては、「通勤や通学が不便」、「買い物、レジャーなどが不便」の順になっています。

住みごころについて

()は前回(平成11年)の調査数値

1. とても住みよい 22.8 (19.7)	4. どちらかといえば住みにくい 5.6 (8.2)
2. どちらかといえば住みよい 52.4 (51.9)	5. とても住みにくい 1.2 (1.7)
3. どちらともいえない 17.1 (17.5)	不 明 0.7 (1.0)

定住意向について

1. ずっと住みつづけたい 44.6 (43.3)	4. 住みつづけたくない 5.7 (7.0)
2. 当分は住みつづけたい 35.1 (32.6)	不 明 0.5 (0.7)
3. どちらともいえない 14.1 (16.4)		

定住意向について前表で「4」と答えた方の理由

1. 通勤や通学が不便 20.2	6. 教育、文化、スポーツ施設が整っていない 4.3
2. 買い物、レジャーなどが不便 16.3	7. 気候、緑など自然環境がよくない 3.2
3. 将来は故郷に帰りたい 13.1	8. その他 24.5
4. 道路、下水など生活環境が整っていない 6.7	不 明 5.3
5. 医療、福祉施設が整っていない 6.4		

豊かさ・ゆとり

物の豊かさから質の豊かさへ

“豊かさ・ゆとり”とは何かという設問では、「日常生活に時間的な余裕がある」が47.9%、「家族との生活に

恵まれている」が47.7%、「収入が多く、経済的にゆとりがある」が45.5%となっています。

豊かさ・ゆとりについて（3つ以内）

1. 日常生活に時間的な余裕がある 47.9	7. 商業施設や公共施設がたくさんあり生活が便利である 18.7
2. 家族との生活に恵まれている 47.7	8. 自分の趣味や知識を活かし地域社会に貢献できる 15.7
3. 収入が多く、経済的にゆとりがある 45.5	9. 文化にふれる機会に恵まれている 11.3
4. 自然環境に恵まれている 36.1	10. その他 1.4
5. ゆとりある住宅や居住環境に恵まれている 21.6	不 明 1.6
6. 安心して子どもを育てられ、親の介護ができる 20.0		

コミュニティ

「のびのびと生活できる雰囲気」や「連帯感」に期待

近所との付き合いの程度については、「顔を合わせたときにあいさつする程度」が34.7%と最も高く、「たまに立ち話をする程度」が28.2%と続き、「ほとんど付き合いがない」は8.1%となっています。

コミュニティに期待することとしては、「のびのびと生活できる雰囲気」が33.6%と最も高く、次いで、「同じ地域に住んでいるという連帯感」が24.5%となっています。

近所との付き合いの程度について

1. 顔を合わせたときにあいさつする程度	…… 34.7	5. ほとんど付き合いがない	…… 8.1
2. たまに立ち話をする程度	…… 28.2	6. 親類と変わらない程度	…… 5.1
3. お互いの家に行き来する程度	…… 13.1	不 明	…… 2.0
4. 留守のときは頼み合う程度	…… 8.8		

コミュニティ（隣り近所・地域社会）に期待することについて

1. のびのびと生活できる雰囲気	…… 33.6	5. 冠婚葬祭の協力や助け合い	…… 7.6
2. 同じ地域に住んでいるという連帯感	…… 24.5	6. 日常生活での家族的な付き合い	…… 6.5
3. 特に期待するものはない	…… 12.0	7. その他	…… 0.9
4. 困ったときに相談できる精神的な支え	…… 11.9	不 明	…… 3.0

環境問題

高い関心で、身近なところから

ごみを減らすために重要だと思うことについては、「リサイクル率を向上させるため、資源ごみの日を設け、資源物については無料で回収する」が50.7%と最も高くなっています。

環境を保全していくために市民と行政が取り組むべきことについては、「ごみの減量化や分別収集、リサイク

ルの徹底を図る」が65.2%と最も高く、次いで、「ごみの不法投棄への監視を強化する」が47.9%となっており、「太陽熱や風力などを利用した自然エネルギーの活用を推進する」や「街路樹や公園などの緑豊かな市街地を形成する」と続いています。

ごみを減らすために重要だと思うことについて

1. リサイクル率を向上させるため、資源ごみの日を設け、資源物については無料で回収する	…… 50.7
2. ごみ減量化についてのPRを充実し、市民の意識向上を図るべきである	…… 21.8
3. ごみの種類に応じたきめ細かい分別が必要である	…… 11.4
4. 家庭ごみのうち粗大ごみは、有料化することが望ましい	…… 3.7
5. 家庭ごみについても全て、有料化することが望ましい	…… 2.4
6. その他	…… 3.0
不 明	…… 7.1

環境を保全するために、市民と行政が取り組むべきことについて（3つ以内）

1. ごみの減量化や分別収集、リサイクルの徹底を図る	…… 65.2
2. ごみの不法投棄への監視を強化する	…… 47.9
3. 太陽熱や風力などを利用した自然エネルギーの活用を推進する	…… 35.9
4. 街路樹や公園などの緑豊かな市街地を形成する	…… 31.5
5. ダイオキシンなど有害物質の対策を講じる	…… 27.9
6. マイカーの利用を抑制し、循環バスなどの公共交通を支援する	…… 18.3
7. 雨水利用や河川環境の保全を推進する	…… 15.0
8. 環境ボランティアの支援、育成を図る	…… 14.0
9. その他	…… 2.0
不 明	…… 2.1

生活環境

“安全性”や“便利さ”の充実を

生活環境についての満足度を市全体でみると、「総合的にみた地域の『暮らしやすさ』」に対する満足度が3.2となっており、「普通」をやや上回っています。個別項目のなかでは、「みどりの豊かさなどの自然環境について」

と「お住まいの日当たりや風通しの良さについて」が3.8と最も満足度が高く、逆に満足度がやや低いのは、「電車やバスなどの交通機関について」、「交通安全対策について」、「防犯体制について」となっています。

評価表	全 体	地区別								年代別						
		成 田	公 津	八 生	中 郷	久 住	豊 住	遠 山	ニ ュー タ ウン	10	20	30	40	50	60	70 以上
(快適さについて)																
1. みどりの豊かさなどの自然環境について	3.8	3.6	3.8	4.3	4.2	4.2	4.3	3.7	4.0	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9
2. 音や振動などの静かさについて	2.9	2.9	3.2	3.6	2.2	1.7	2.5	2.1	3.2	2.8	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0	2.9
3. 空気のきれいさについて	3.3	3.1	3.5	4.1	3.4	3.5	3.7	2.9	3.4	3.1	3.1	3.1	3.3	3.4	3.5	3.5
4. お住まいの日当たりや風通しの良さについて	3.8	3.6	3.8	4.2	4.1	4.1	4.2	3.7	3.8	3.7	3.6	3.7	3.8	3.8	3.9	3.9
(衛生について)																
5. 水道水や井戸水について	3.2	3.2	3.3	3.4	3.6	3.4	3.2	3.3	2.9	3.1	2.9	2.8	3.0	3.2	3.4	3.8
6. ごみの処理について	3.2	3.2	3.3	3.4	3.2	3.0	3.1	3.1	3.3	3.1	3.1	3.0	3.1	3.3	3.4	3.6
7. し尿や家庭雑排水の処理について	3.5	3.4	3.5	3.2	3.4	3.4	3.4	3.3	3.6	3.3	3.3	3.3	3.3	3.5	3.7	3.8
(安全性について)																
8. 交通安全対策について	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.7	3.0	2.8	2.8	2.7	2.7	2.9	3.0	3.0
9. 防犯体制について	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.6	2.8	2.7	2.9	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	2.9	3.1
10. 消防体制について	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.3	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.4
11. 浸水やがけくずれなど自然災害対策について	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.1	2.9	3.1	3.3	3.1	3.0	3.0	3.1	3.2	3.3	3.3
(便利さについて)																
12. 電車やバスなどの交通機関について	2.7	2.8	2.8	2.4	2.1	2.0	1.5	2.0	3.1	2.8	2.4	2.6	2.6	2.8	3.0	2.9
13. 商店やマーケットについて	3.1	3.3	3.2	2.8	3.1	1.9	1.8	2.7	3.4	3.1	3.0	3.2	3.1	3.1	3.2	3.1
14. 病院や診療所などの医療機関について	3.0	3.1	3.2	2.8	2.8	2.1	1.9	2.3	3.2	3.1	2.9	3.0	2.9	2.9	3.0	3.1
(公共施設について)																
15. 保育所や幼稚園などの整備状況について	3.2	3.1	3.2	3.0	3.1	2.4	2.7	2.9	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3
16. 小学校や中学校などの整備状況について	3.2	3.2	3.2	3.0	3.0	2.4	2.8	3.0	3.4	3.4	3.2	3.1	3.1	3.2	3.3	3.3
17. 子どもの遊び場や公園などの整備状況について	2.9	2.9	3.0	2.8	2.7	2.3	2.4	2.7	3.2	3.0	3.0	2.9	2.8	3.0	3.0	3.0
18. 道路の整備状況について	3.0	2.9	3.0	2.7	2.9	2.7	2.7	2.6	3.3	3.0	3.0	3.0	2.8	3.0	3.0	3.1
19. スポーツ・レクリエーション施設の整備状況について	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8	2.6	2.5	2.5	3.2	2.9	2.8	2.9	2.8	3.0	3.0	3.1
20. 趣味や学習のための施設の整備状況について	2.9	2.9	2.8	2.9	2.8	2.5	2.7	2.5	3.1	2.8	2.8	2.9	2.8	2.9	3.0	3.1
(地域社会について)																
21. 近所付き合いや地域の連帯について	3.0	3.0	3.0	3.4	3.2	3.1	3.3	3.0	3.0	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	3.1	3.3
22. 区・自治会などの活動について	3.0	3.0	3.0	3.2	3.1	3.0	3.2	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0	3.2
23. 風紀や雰囲気について	3.0	3.0	3.0	3.3	3.0	3.0	3.2	2.9	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1
24. 子どもを育てる場所として	3.2	3.1	3.2	3.3	3.2	3.1	3.0	2.9	3.4	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2
25. 高齢者が生活する場所として	2.9	2.9	3.0	3.1	3.0	2.8	2.9	2.6	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1
(総合評価)																
26. 総合的にみた地域の『暮らしやすさ』について	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	2.8	3.0	2.9	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.4

注：集計は、各選択肢を次の基準で評価し、地区毎または年代毎の平均値を算出した。

「満足」=5点、「やや満足」=4点、「普通」=3点、「やや不満」=2点、「不満」=1点

福祉

医療・健康、高齢者の居住環境、子育て支援などに期待

今後の福祉施策を推進する際に重要なことについては、「元気に暮らせる医療・健康づくり」が50.8%と最も高く、次いで、「介護支援サービスの充実」が40.4%となっています。

高齢化が進むなかで力を入れていく必要のあることについては、「高齢者が安心して生活できる居住環境の整備」が34.1%と最も高くなっているが、その他の項目についても、10～20%台となっています。

子どもを育てていく上で力を入れるべきことについ

ては、「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」が40.7%と最も高く、次いで、「子育て支援体制の整備」が36.4%となっています。

地域社会における市民の生きがいづくりのために必要なことについては、「子どもから高齢者までみんながふれあえる場の確保」が47.5%と最も高く、次いで、「高齢者などの経験や知恵を活用することのできる場の提供」が40.2%となっています。

今後の福祉施策を推進する際に重要なことについて（2つ以内）

1. 元気に暮らせる医療・健康づくり	……	50.8
2. 介護支援サービスの充実	……	40.4
3. 安心して子育てができる環境づくり	……	32.0
4. 高齢者や障がいのある方の生きがいづくり	……	27.3
5. 地域の人かみんな一緒に暮らせる雰囲気づくり	……	20.5
6. 障がいのある方が自立した生活ができる環境整備	……	16.7
7. その他	……	0.8
不 明	……	1.6

高齢化が進むなかで力を入れていく必要のあること（2つ以内）

1. 高齢者が安心して生活できる居住環境の整備	……	34.1	7. 健康相談や保健サービスの充実	……	15.7
2. 在宅福祉サービスの充実	……	26.2	8. 福祉活動を担うボランティアの育成と支援体制の整備	……	14.2
3. 高齢者が生きがいを持って働ける機会の確保	……	24.8	9. 仲間とふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の充実	……	10.8
4. 医療体制の充実	……	23.1	10. その他	……	0.9
5. 高齢者の知識、経験、技能を社会に還元する機会の確保	……	21.4	不 明	……	1.5
6. 老人福祉施設の整備	……	21.2			

子どもを育てていく上で力を入れるべきことについて（2つ以内）

1. 子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援	……	40.7	5. 児童ホーム（学童保育所）の整備	……	19.3
2. 子育て支援体制の整備	……	36.4	6. 児童館など子どもが室内で遊べる施設の整備	……	16.8
3. 一時保育や休日、夜間保育の充実	……	33.4	7. 子供会やPTAなどの地域活動への支援	……	8.7
4. 隣り近所の協力や助け合い意識の醸成	……	20.2	8. その他	……	2.4
			不 明	……	4.6

地域社会における市民の生きがいづくりのために必要なことについて（2つ以内）

1. 子どもから高齢者までみんながふれあえる場の確保	……	47.5	4. 生涯学習活動を推進し、一生涯学べる場の提供	……	25.7
2. 高齢者などの経験や知恵を活用することのできる場の提供	……	40.2	5. ボランティアなど地域社会に貢献する機会の確保	……	21.8
3. 公園や広場を整備し、余暇活動の機会を確保	……	35.5	6. その他	……	1.2
			不 明	……	3.7

防災・防犯

安心・安全なまちづくりに期待

大地震で、あなたが被災した場合にどのような情報を得たいかについては、「食料・水などの確保の状況」が62.7%と最も高く、次いで、「安否情報」が52.4%となっており、「電気・ガス・水道・電話などのライフラインの状況」「救護所・医療機関の状況」と続いています。

防犯対策で重要なことについては、「空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化」が60.1%と最も高く、次いで、「非行や少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化」が56.2%と高くなっています。

大地震で、あなたが被災した場合にどのような情報を得たいか（3つ以内）

1. 食料・水などの確保の状況	…… 62.7	7. 家屋の被害状況	…… 17.1
2. 安否情報	…… 52.4	8. 火災の延焼状況	…… 9.2
3. 電気・ガス・水道・電話などのライフラインの状況	…… 41.0	9. 交通機関の状況	…… 7.3
4. 救護所・医療機関の状況	…… 32.9	10. 消火活動の状況	…… 2.7
5. 避難場所の状況	…… 31.3	11. その他	…… 0.4
6. 余震の状況	…… 27.3	不明	…… 2.2

防犯対策について重要なこと（2つ以内）

1. 空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化	……60.1
2. 非行や少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化	……56.2
3. ストーカーや各種の迷惑行為の取締りや指導の強化	……24.3
4. 地域の風紀を乱すような風俗店などを立てさせない健全なまちづくりの推進	……23.7
5. 個人情報に関するセキュリティの強化	……21.4
6. その他	…… 1.7
不明	…… 2.8

市民と行政の協働

市民に身近な行政運営に期待

協働のまちづくりを推進すべき分野については、「子育て支援や高齢者の生きがいづくりといった福祉・保健分野」が49.0%と最も高く、次いで、「環境美化やリサイクルといった環境分野」が31.3%、「災害時のボランティアや防犯巡回パトロールといった防災・防犯分野」が27.7%となっています。

協働のまちづくりの推進にあたって必要な取組みについては、「協働の前提となる行政の方針など情報公開の推進」が34.9%と最も高く、次いで、「市民や団体が提案するまちづくりを、行政が支援する仕組みづくり」が27.9%、「市民や団体におけるまちづくりの取組みなどの情報提供」が25.3%となっています。

協働のまちづくりを推進すべき分野について（2つ以内）

1. 子育て支援や高齢者の生きがいづくりといった福祉・保健分野	…… 49.0	6. 授業・クラブ活動への外部講師の参加や生涯学習といった教育分野	…… 11.6
2. 環境美化やリサイクルといった環境分野	…… 31.3	7. 国際理解教育や国際交流などの分野	…… 10.5
3. 災害時のボランティアや防犯巡回パトロールといった防災・防犯分野	…… 27.7	8. 農産物や加工品などの特産品開発といった農業分野	…… 6.9
4. 魅力あるまちなみや里山景観づくりといった都市・地域づくり分野	…… 22.4	9. その他	…… 0.9
5. 商店街の活性化や観光ボランティアといった商工・観光分野	…… 13.0	不明	…… 6.6

協働のまちづくりの推進にあたって必要な取組みについて（2つ以内）

1. 協働の前提となる行政の方針など情報公開の推進	……34.9
2. 市民や団体が提案するまちづくりを、行政が支援する仕組みづくり	……27.9
3. 市民や団体におけるまちづくりの取組みなどの情報提供	……25.3
4. 政策決定過程において、市民と行政が話し合うタウンミーティングの充実	……19.4
5. 政策決定過程において、市民の意見を募るパブリックコメント制度の充実	……16.8
6. 行政が提案するまちづくりを市民と行政で協働する仕組みづくり	……16.4
7. 各種委員会、審議会などへの公募市民の参加	……9.5
8. まちづくりの取組みに関する学習機会の確保	……9.0
9. その他	……0.8
不明	……9.6

今後のまちづくり

空港を活用した住みやすいまち

成田市の国際化の望ましい発展方向については、「英語教育など国際性豊かな教育に重点をおく」が37.7%と最も高く、次いで、「国際交流や国際観光を推進する」が34.1%、「外国語表示などだれにでも優しいまちづくりを推進する」が25.1%となっています。

現在お住まいの地域の発展方向については、「地域医療や福祉サービスの整った安心できる地域」が47.5%と最も高く、次いで、「豊かな自然環境を保全した静かな

地域」が45.0%、「商店や生活利便施設のある便利な地域」が28.5%となっています。

成田市の発展方向については、「安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち」が40.4%と最も高く、次いで、「生活環境の整ったまち」が39.3%、「日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち」が30.5%となっています。

成田市の国際化の望ましい発展方向について（2つ以内）

1. 英語教育など国際性豊かな教育に重点をおく	……37.7	5. 国際物流や国際的な産業の誘致につとめる	……18.6
2. 国際交流や国際観光を推進する	……34.1	6. 国際的なボランティアなどで活躍している方に活動の場を提供する	……16.8
3. 外国語表示などだれにでも優しいまちづくりを推進する	……25.1	7. その他	……2.4
4. 国際的な「NARITA」の知名度を活用して地域イメージを高める	……24.8	不明	……9.2

現在お住まいの地域の発展方向について（2つ以内）

1. 地域医療や福祉サービスの整った安心できる地域	……47.5	5. 公民館や公園で地域の住民がレクリエーションを楽しめる地域	……17.9
2. 豊かな自然環境を保全した静かな地域	……45.0	6. 市民や観光客などの集まるにぎやかな地域	……6.1
3. 商店や生活利便施設のある便利な地域	……28.5	7. その他	……2.2
4. 道路などの交通網が整備された地域	……23.5	不明	……5.8

成田市の発展方向について（2つ以内）

1. 安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち	……40.4	6. 農業が盛んで自然環境に恵まれたまち	……11.3
2. 生活環境の整ったまち	……39.3	7. 市民のアイデアや活動を活かした市民参加が盛んなまち	……11.0
3. 日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち	……30.5	8. 学校教育の充実と生涯学習の盛んなまち	……9.7
4. 伝統や歴史的資源を保全・活用する歴史・文化の薫りの高いまち	……16.8	9. 先端産業や研究機関が集まったまち	……4.1
5. 観光や商業活動が盛んなまち	……14.8	10. その他	……1.1
		不明	……5.5

自由意見

自由回答欄には、4,963人の回答者の57.0%にあたる2,828人のみなさんからご意見をいただきました。これらのご意見のなかから、「成田市に今一番して欲しいこと」に関するものをいくつか要約して紹介します。

住宅地と駅・商業施設間の近道など、道路の拡張(延長)・新設をして欲しい。

市街地だけでなく、郊外・農村部の道路をもっと整備して欲しい。

駅近辺の道路が狭く、人と車が入り混じって危険なので整備(歩道拡張など)をして欲しい。

交通量が多いにもかかわらず、歩道が設置されておらず危険な箇所があるので整備して欲しい。

交通・安全対策(信号設置、交差点改良、ガードレールの設置など)をして欲しい。

子どもをもった女性が安心して働くことができる、子育てしやすい環境を整備して欲しい。

乳幼児医療費の補助金の増額、補助期間の延長をして欲しい。

保育施設をもっと設置して欲しい。また、保育時間の延長・休日保育をして欲しい。

博物館、美術館、音楽ホールなどの文化施設を設置して欲しい。

スポーツジム、体育館、運動広場などのスポーツ施設をもっと整備・設置して欲しい。

公共施設の利用時間をもっと延長して欲しい。

利用(予約)申し込みの簡略化、利用情報の公開など施設をもっと利用しやすくして欲しい。

既存施設をもっと有効活用して欲しい。

ごみ出しや分別の徹底を促して欲しい。

タバコのポイ捨てや路上喫煙を禁止し、取り締まりをして欲しい。

駅前、道路、公園のごみが目立つので、清掃を強化するなどして環境美化を推進して欲しい。

スーパーの袋も利用できるようにするなどして、ゴミ袋をもっと安く、使いやすくして欲しい。

市役所窓口の業務時間を延長(土日も含めて)して欲しい。

国・県の支所(行政窓口)を設置して欲しい(社会保険事務所、県税事務所、旅券事務所など)。

各種事務手続きをもっと簡略化して欲しい。

千葉、柏、東京などまでわざわざ出かけなくてもよいような、若い人にも利用される商業施設を充実させて欲しい。

遊園地、テーマパークなどの総合的娯楽施設を設置して欲しい。

商業・娯楽施設が一部に固まっていて不便なのでもっといろいろな場所に設置して欲しい。

都内からのアクセス(道路、鉄道)を向上させて欲しい。

空港周辺に緑地、公園などを整備して欲しい。

空港内や周辺に空港利用客が立ち寄り、また、観光客誘致につながるような、商業・娯楽施設を充実させて欲しい。

警察官の増員、取り締まり体制の強化をして欲しい。

子供達の安全を確保して欲しい。

市民パトロールなど、地域ぐるみの防犯体制を強化して欲しい。

市民意識調査の集計結果や分析をまとめた「市民意識調査報告書」は市役所1階行政資料室、各公民館、市立図書館および各分館で閲覧できます。また、市のホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp>)でもご覧になれます。内容についてくわしくは企画課(☎20-1500)へお問い合わせください。